

# 日野総合事務所だより



## そば畑と井上靖記念館「野分の館」（日南町神福）

終戦間近に疎開先として訪れたこの地は、文豪井上靖の脳裏に深く焼きつき、後に小説「通夜の客」、詩「高原」「野分」などで鮮やかに描かれています。

井上靖生誕100周年を迎えた本年は、地元で記念イベント等が開催されました。素朴なそば畑の先に佇む「野分の館」は、日野郡の秋の始まりを告げているようです。

### Contents

目次	日野郡の「人」シリーズ .....	2
	県民局 .....	3
	福祉保健局 .....	4~5
	農林局 .....	6~7
	県土整備局 .....	8~9
	郡民会議 .....	10~11
	西部教育局日野郡地域教育担当 .....	12
	お知らせ .....	13~16

和牛博覧会 第9回全国和牛能力共進会 

in とっとり  
平成19年10月11日(木)▶14日(日)  
<http://www.torizenkyo.com>

## 日野郡の人シリーズ ⑦

日野郡で地道に活動し、  
地域振興に一役買っている「人」を  
取り上げて紹介します。日南町  
はまのぶ  
延義さん

日南町霞にあるフレンチレストラン「創造の森」のオーナーシェフ狭間さん（63才）は、大阪府寝屋川市出身。フランス料理人歴は実に45年になります。大手ホテルチエーンなどで料理長を務めた後、一昨年の5月に旬の地元素材にこだわったフランス料理を提供するレストランを開店しました。レストランは狭間さん自身が満足いく料理を出すために予約制で土日祝日だけ営業。それも1日2組までと決めています。

## 日南町は食材の宝庫

狭間さんは早くから、50歳で現役を引退しようと心に決めていました。組織の中で自分の役割をこなすのではなく、もうけのためでなく料理人、男としての集大成として料理を作っていきたいという思いが優れた食材のある日南町に狭間さんをおかわせたのです。日南町にはおいしい米、煮崩れしないトマトなど、農産を使わず



自家消費のためだけに少量だけ作っている珍しい野菜など一般には流通しないものの素晴らしい食材が眠っていました。狭間さんは農家を一軒ずつ訪ね、地元の食材を確保していききました。

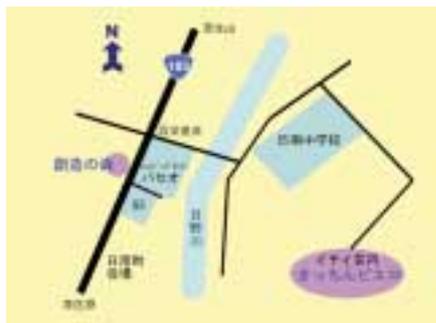
## 地域とともに

日南町で見つけた素材を関西の料理人仲間を紹介したところ、評判になって自分のところの料理にも使いたいという声がかかるようになりました。狭間さんは、日南町で協力してくれた人たちへの恩返しになればと日南町の食材の紹介とともに、関西の消費地と日南



町の生産者をつなぐ情報発信基地になりたいと考えています。レストランで出される珠玉の料理の数々は、まさに食材の良さを知ってもらおう広告の役割も担っているのです。

地域に根ざした活動をしたと望む狭間さんは、近くの小高い丘の上にある日南町農林業担い手研修施設「イチイ荘」の指定管理者を引き受け、その建物の中に新しくお食事・喫茶「きっちんピエロ」をオープンさせるなど、その活動の幅をますます広げています。



きっちんピエロ連絡先  
0859-82-0073

## 問い合わせ先

県民局 県民課  
電話 0859-72-2082  
担当 塚田 修一

# 自然活用係 活動状況を「報告します！」

## 地域資源の活用に向けて

「郡内の素晴らしい自然をいかに地域の振興に結び付けていくか」を念頭に、代表的な景勝地だけでなくあまり知られていない「地元お奨めの場所」にも足を運び、一つ一つの地域資源の状況把握・問題点の検証に力を入れています。

例えば、日野町の「上菅五滝」は「日野郡ウォーキングマップ」で紹介されたものの、周辺の道は藪で覆われ滝に近づくのも難しい状況でし



上菅五滝のある都合谷川



自然学習会の様子

たが、地元の方々が中心となって山道の草を刈るなどの周辺整備が始まりました。8月には郡内の小学生を対象とした学習会も開催されるなど、将来的には滝周辺の自然環境だけでなく上流の「都合谷たたら跡」も含めた『水とたたらに関わりや歴史について総合的に学習する場』としての活用を目指しています。

今後はさらに周辺の整備を重ね、郡内屈指のウォーキングコースとしても活用できるよう、地元の方々と一緒に考えて行きたいと思えます。

## 「日野川の源流と流域を」

「日野川の源流と流域を守る会」は官民一体となって日野川の恵まれた自然環境を守り、次の世代へ引き継いでいくことを目的として平成14年に設立された団体です。



源流の碑と森を訪ねる旅 (日南町新屋)

今年度より事務局を担当することとなり、これまでに「源流の碑と森を訪ねる旅」や、船通山の頂上で行われる宣揚祭への参加、夏休み期間中の「森の楽校」「川の楽校」など、様々なイベントを実施してきました。参加者の方々にはこれらのイベントを通じて日野川源流域の豊かな自然や歴史・文化にふれ、その大切さを実感していただいているところでです。



船通山山頂での宣揚祭

この秋にもいろいろな企画を予定しています。会員でない方も参加できますので興味のある方は是非一度ご参加ください。併せて新規会員も募集しておりますので、お気軽に事務局までお問い合わせください。



川の楽校 (日吉津)

問い合わせ先  
 県民局 県民課  
 電話 0859-72-2086  
 担当 郡 香緒利

## 第5回

## 森・こころの健康まつり

## 奥大山の輝く町から広げよう心の輪

～私たちの心のふるさとをここにあり！～

障害があってもなくても  
お互いに助け合って  
生活できる日野郡に

「こころの病気」といわれているものには、統合失調症やうつ病、うつ病などがあります。統合失調症は約100人に1人、うつ病は一生のうち6〜7人に1人がかかるといわれており、それほど珍しい病気ではありません。脳の中にある神経を伝える物質の異常によって起こると考えられており、決して「こころが病気」になったわけではありません。

障害が残った場合、その障害は目に見えないために周りの人からは理解されにくく、偏見や誤解を受けたり、生活のしづらさを抱えながら生活しておられます。

このため、薬での治療やリハビリテーションだけでなく、多くの方のご理解と日常の生活の場での支援が必要です。

このまつりは、多くの方に病気や障害の理解をしていただき、障害があってもなくてもお互いに助け合って生活できる地域になることを目指しています。

日時 平成19年 **10月17日** (水) 午前10時30分～午後3時15分

場所 **江府町山村開発センター** (江府町江尾 江美神社向かい)  
電話 0859-75-2211 (江府町役場総務課)

内容 ●バザー・作品展示 (午前10時30分～正午)

おしどり作業所	クッキー・マドレーヌ・コーヒー等
日南町小規模作業所一歩	中華丼・カレー・自主製品
セルプひの	パン・手芸品・木工製品
いんくる	手芸品・木工製品等
江府町食生活改善推進協議会	ざるそば
みちくさ推進会議	農産物・加工食品・手芸品



どなたでも無料で  
参加できますので、  
皆様、是非お誘い  
あわせの上ご参加  
ください！

●講 演 (午後0時30分～1時30分)

「共にこの<sup>まち</sup>地域で暮らすために ～わたしたちにできること～」

講師 鳥取県立精神保健福祉センター精神科医 植田俊幸 氏

●ステージ発表 (午後1時40分～3時)

おしどり作業所、日南町小規模作業所一歩  
セルプひの、いんくる  
子供の国保育園園児  
こうふ太極拳クラブ



問い合わせ先

福祉保健局 保健衛生課  
電話 0859-72-2037  
担当 宮脇 香織

**脳が損傷を受けた場所によって  
いろいろな症状がおこります**

- ・何度も同じことを話したり質問したりする。
- ・物の置き場所を忘れる。
- ・簡単なものごとの段取りや手順がうまくできない。
- ・よく知っている場所で道に迷う。
- ・日常生活で何気なく行っている動作がうまくできない。
- ・なめらかにしゃべれない。
- ・相手の話が理解できない。
- ・見ている空間の片側を見落とす。
- ・気持ちが動揺しやすい。・・・など

高次脳機能障害は、交通事故による脳外傷、脳卒中(脳血管障害)などによる脳の損傷や、低酸素脳症(脳の酸素不足)などにより、こゝとばや記憶、考えたり、注意したりなどの機能に障害が起きている状態をいいます。

ご本人自身もこの障害を十分に認識できていなかったり、診察や入院生活よりも日常生活場面(職場、学校、買物、交通機関の利用等)で障害が出やすいため、医療

知ってください

**高次脳機能障害のこと**



スタッフに見落とされやすいという特徴があります。

外見からはわかりにくいので、障害を知らない人から誤解を受けやすく、社会復帰がしにくい状況におかれています。

脳に損傷を受けたことによって生じる症状を理解し、ご本人が尊厳をもって社会生活を送れるよう、周囲の方が支援していくことが必要です。

**<相談窓口>**

福祉サービス等が受けられる場合もあります。お気軽にご相談ください。

○日野総合事務所福祉保健局  
保健衛生課 指導係  
電話 0859-72-2037

○高次脳機能障害家族会  
米子市内町122  
(障害者生活支援センターまちくら内)  
電話 0859-35-5647  
080-1921-1711

問い合わせ先  
福祉保健局 保健衛生課  
担当 谷野 真由美  
電話 0859-72-2037

**ご存知ですか？  
在宅の障害がある方への手当**



重い障害があり、日常生活に多くの介助を必要とされる在宅の方に、特別障害者手当、障害児福祉手当が支給されます。

該当すると思われる方は、お住まいの町役場障害者福祉担当窓口にご相談ください。

	特別障害者手当	障害児福祉手当
対象者	重度の障害があり、日常生活に常時特別の介護を必要とする20歳以上の在宅の方	重度の障害があり、日常生活に常時介護を必要とする20歳未満の在宅の方
手当額	26,440円(月額)	14,380円(月額)
障害程度の具体的な例(一部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両眼の視力の和が0.04以下の方</li> <li>・両耳の聴力レベルが100デシベル以上の方</li> <li>・両上肢の機能に著しい障害を有する方</li> <li>・両下肢の機能に著しい障害を有する方</li> </ul> など これらのうち2つ以上に該当する方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両眼の視力の和が0.02以下の方</li> <li>・両耳の聴力が補聴器を用いても音声を識別できない程度の方</li> <li>・両上肢の機能に著しい障害を有する方</li> <li>・両下肢の用を全く廃した方</li> </ul> など これらのいずれかに該当する方
申請窓口	○日南町福祉保健課(日南町健康福祉センター内) 電話 82-0374 ○日野町健康福祉課(日野町役場) 電話 72-0334 ○江府町福祉保健課(江府町総合健康福祉センター内) 電話 75-6111	
注意事項	○手当の判断基準は、身体障害者手帳、障害年金の認定基準と異なります。また、手帳をお持ちでなくても受給できます。 ○ご本人、ご家族の所得により、支給が制限される場合があります。	

問い合わせ先 福祉保健局 福祉総務課 0859-72-2035 担当 小島 茂樹



メイン会場 (崎津在宅団地)

- 「和牛再発見館」
  - お肉自慢横町 (全国お肉自慢など)
  - 畜産農業未来展
  - 「食のみやこ鳥取県」の発信
  - とっとり大地と海のフェスタ (鳥取県農林水産祭)
  - とっとりぐるめタウン
  - がいなバーベキューハウス
  - 白バラみるく館
  - 大会史上初の試み
  - サブ会場の設定 (隠岐の牛突き物販「コーナー」など)
  - 「畜魂祭」の実施
- 牛馬繁栄の守護として信仰されている「大山寺」で慰霊祭を実施



# 和牛博覧会

第9回全国和牛能力共進会

in とっとり



大会マスコットキャラクター「とりモ」

平成19年10月11日(木) ▶ 14日(日) 入場無料

共進会は大きく分けて雄牛・雌牛の和牛改良の成果を競う「種牛の部」と、肉質を競う「肉牛の部」があり、全国から約500頭の牛が集います。地元、鳥取県は全ての出品区に27頭の牛が出場し、上位入賞を目指しています。

日野郡では、下の3頭の牛が出品されます。古くから全国にその名を轟かせた名声、関係者の期待を背に内閣総理大臣賞を目指して頑張ります。

## 「和牛の日本一」をめざして 日野郡頑張ります！



若雄区 いちかつぶく号  
西村 槐 (日野町下榎)



系統雌牛郡区  
しばひめひら号  
しばひめかね号  
遠藤真由美 (日野町別所)



### 第5回 日野川源流米コンテスト 出品米募集！

本年も、日野産の美味しいお米をPRすると共に、美味しいお米の安定生産技術を確認するために、米の食味コンテストを開催します。

#### 【出品の条件】

- 品 種：平成19年産「コシヒカリ」
  - 出品範囲：日南町・日野町・江府町・伯耆町 (旧溝口地区に限ります)
  - 募集期間：平成19年9月10日～10月12日
  - 出品形態：玄米 (500g) または、粳 (800g)
  - 添付資料：①出品表に必要事項を記入すること (出品表は出品米の提出場所においてあります。)
  - ②出品米を生産した水田の「**水稻栽培管理日誌**」  
→すでに営農センターに提出した方の再提出は不要です。
  - ③上位入賞の方には、後日「米づくりのこだわり」を聞かせてもらいます。
  - 提出場所：日南町・日野町・江府町・伯耆町役場の農業担当課  
鳥取西部農協 日南・日野・江府・溝口支所  
日南営農センター、日野伯耆営農センター
  - その他：後日、出品米と同じ水田で穫れたお米を3kg程度買い取りさせてもらえる方 (上位入賞のお米は、実際に食べて食味の判定を行います。)
- ※なお、出品されたお米の返却はいたしませんので、御了承下さい。



●結果発表：食味分析の結果により上位入賞者を決定し、11月7日(水)に開催を予定している、「第5回日野川源流米コンテスト食味鑑定会・表彰式」のなかで、実際に食べて一番評価の高いお米を最優秀賞に決定します (上位入賞者の方には事前に通知します)。



問い合わせ先 農林局 農業振興課 0859-72-2007 担当 松原 秀樹

# 2007年7月 新潟県中越沖地震被災地支援報告

## 新潟県中越沖地震、鳥取県災害応援隊活動を通して

日野総合事務所県土整備局道路建設課 土木技師 井上 晴雄

平成19年7月16日午前10時13分頃、マグニチュード6.8、震度6強の地震が新潟県柏崎市を中心に発生しました。本地震を受け、県では7月25日から29日までの4日間、被災地の復興支援のため鳥取県災害応援隊を派遣することとなり、私はその一員として、復興活動を経験させていただきました。その活動の一端ではありますが、お話しさせて頂きたいと思えます。



柏崎小学校での配膳作業の様子

### 被災地1日目

25日早朝に鳥取県庁を出発し、新潟県に到着したのは午後9時頃でした。辺りは暗く町の様子を窺うことはできませんでしたが、通過した高速道路では、地震のため路面の不陸が続き、凹凸は激しく、復旧工事を行っている最中でした。これが今回地震被害を最初に実感した瞬間でした。

### 被災地の現実

26日の朝、ホテルから柏崎市内に向かう途中、倒壊した家屋、道路に走る多数の亀裂等、多くの地震の爪あとを目の当たりにしました。今後の復興のことを考えると気が遠くなるくらい、町並みは荒れていました。柏崎市に到着し作業を行うとすると、大雨洪水警報が発表されており、土砂崩れなどの危険性があるということで屋

外での活動を見合わせ、屋内での物資搬送などの軽作業を行いました。夕方からは、避難所となっている柏崎小学校で夕食の配膳作業を行いました。地元の方や自衛隊と一緒に作業を行いました。連日の疲労が溜まっている様子で、殺伐とした雰囲気を感じましたが、そのような中でも、地元の方々が一体となってやっという姿勢が見受けられ、地元の子供たちも積極的に参加して作業を行うような状況でした。

### 被災者宅を訪問して

翌日27日は、前日の荒天から一転して、日差しが強い晴れた日となりました。午前は老人二人暮らしのお宅で、冷蔵庫を運び出す作業を行いました。作業自体は、さほど時間が掛かるものではありませんでしたが、やはり高齢者の二人暮らしでは、少々きつい作業であったように感じます。今回のような大きな地震が起こったとき、高齢者のみの家庭では復旧作業が困難であり、ボランティアおよび地域の連携が大切になってくるように感じました。その後は、一軒家に向かい、地震によって散乱した家の



冷蔵庫搬送作業の様子

### 今回の活動を通して

今回の活動で感じたこと、それは地震・災害など遭遇したときに、「自助」という意味で自らの安全をどのように確保するかということ、そして「共助」という意味で、自分の地域の周りに住む人達を把握し、今回経験したような高齢者などに目を配れるような地域づくりを行うこと、それが被害を最小にするために必要であると感じました。

# 中越沖地震支援レポート

## 初期支援活動から見た被災地の状況

日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦

### 相次ぐ大地震発生

「また中越だ！」7月16日午前、テレビの地震速報が知らせていたのは、3年前の中越地震や豪雨水害を経験した地域で大きな震度を示す中越沖地震の発生だった。今年3月にも能登半島地震が起こり、いまだ復興の途上にある。

これまでの被災地支援でつながりができている現地周辺の方からの情報を集め、日野ボランティア・ネットワークからこれまで5人が、柏崎市災害ボランティアセンターの本所と西山支所で、スタッフやボランティアとして支援活動を行った。

### 中越沖地震の困難な課題とボランティアの活動

柏崎市の被害はひどく、倒壊家屋、倒壊寸前と思われる家屋……

応急危険度判定で「赤紙」(危険)の件数が多いに多かった。甚大な被害のためかがれきや粗大ゴミの回収は進まず、柏崎市の町内会長会では「非常事態らしい対応をしてほしい」と行政へ強い要望の声があがった。

ひと月半が経った現在でも、危険な状態のままの家屋があちらこちらに見られ、がれきが道の端に寄せられただけで、ほとんど被災直後のままの地域もある。

地盤被害も大きかったため、水道や都市ガスなどライフラインの復旧に長い時間を要し、被災者は猛暑のなか体育館や集会所で長期にわたる避難生活を余儀なくされた。行政は早急に応急仮設住宅を建設したが、入居開始を急ぐあまり入居希望者への説明が十分になされず、被災前に暮らしていた集落単位で入居という方針も覆した。結果として入居先決定後のキャン

セルが相次ぎ、今後のコミュニケーション形成にも不安を抱える形になっている。

危険な「赤紙」家屋には、住民はもちろんボランティアもそのままでは立ち入れない。このため建築士協会等専門家の協力で応急的に危険を回避する助言を受け、少しでも支援ができるようにしてきた。ゴミ回収は朝の回収時間に合わせてボランティアによる早朝のゴミ出し隊を編成し、仮設住宅の集会所には各地から派遣されている社会福祉協議会職員を配置して慣れない暮らしを始めたばかりの入居者のよろず相談を受けている。今後の生活支援につながる関係づくりが少しずつ始まっている。

### よりよい被災者支援のために

能登・中越の被災地は、いずれも地方の都市と農漁山村地域であり、その中でも小集落などには目が向きにくい。特に今回、能登半島地震の被災地は中越沖地震の発生により、中越沖地震の被災地は柏崎刈羽原発の被害により、被災者の状況は報道が少なく、義捐金も少ない。

こうした中で、被災住民・行政・支援者のそれぞれが懸命に復旧・復興活動に取り組んでいるのだが、コミュニケーションが十分であるといえない状況に陥っている。住民が行政や支援者と連携しやすくなるよう状況を改善していくためには、日常的に自治会などの地域体制づくりを進めるとともに、外部との交流を盛んにしていくしかないように思う。



海辺の小集落は、家屋被害と崖崩れの危険にさらされる

### ●日野ボランティア・ネットワーク事務局

日野郡日野町根雨130-1  
日野町山村開発センター2階  
E-mail: hinovnet@ydb.ne.jp

# 鳥取県日野郡民行政参画推進会議

## 第3期委員による会議の運営について

第3期委員による本会議開催は既に5回を数え、平成20年7月8日の委員任期満了まで残り9ヶ月余りとなりました。

これまで第3期委員の皆さまは、会議の中で日野郡の抱える諸課題について、いろいろな切り口で意見交換を重ねてこられました。

その中で、第3期委員による会議の特色といえば、行政に頼らない委員主体の会議運営を進めるために「運営委員会」を設置し、その運営委員会において本会議の特定テーマを設定して意見交換を行っていることではないでしょうか。

この「運営委員会」をはじめとする会議運営の取り組みについて、今回は、その一端をお伝えしようと思います。



### 委員代表による運営委員会を設置し、会議の進め方等に工夫を凝らしています。

会長、会長代理及び町代表各2名の計8名で運営委員会を構成しています。

委員会では、各町の口コミ情報を持ち寄って情報交換しながら、次回会議の特定テーマを決定したり、委員学習会や視察について検討するなど、活発に意見が交わされています。

### 県の出前説明会を利用して委員学習会を開催しています。

これまで、第4回会議の前に「県立高校の教育改革」について学習会を開催しました。次回は10月6日の第6回会議にあわせて「森林環境保全税」についての学習会を予定しています。

### チャレンジプラン等補助事業の取組みについて、事業者から直接状況をお聞かせいただいています。

第5回会議の中で、チャレンジプラン実施事業者による報告会を組み入れ、3団体からその取組みの実態、効果等について事例発表していただきました。



### 今後は、日野郡のあまり知られていない地域資源(人・もの・動き等)の掘り起こしに向けて、委員の現地視察も検討していきます。

第5回会議において、特定テーマを「日野郡の産業（農林・商工）振興と文化・観光」として意見交換を行いました。地域資源の掘り起こしは、観光等に繋げるためにも、地域住民と行政が協力して行っていくべきと確認されましたので、委員も郡内の様々な地域資源を実際に確認できるよう現地視察を行うことも検討していきます。

## 第6回日野郡民会議開催についてのお知らせ

開催日時：10月6日（土）11時～16時30分（予定）

開催場所：日野総合事務所大会議室

本会議開催前（9時30分～10時50分）に、「森林環境保全税」についての委員学習会を開催します。

特定テーマは第5回に引き続き「日野郡の産業（農林・商工）振興と文化・観光について」ですが、さらに議論を深めたいという委員のみなさまの意気込みが感じられます。

もちろん傍聴できますので、住民のみなさまも、是非一度おいでいただき、会議を通じて「日野郡のこれから」について一緒に考えてみてはいかがでしょうか。



## 今後の郡民会議広報についてのお知らせ

『日野総合事務所だより』は今回号を持って廃刊となりますので、今後は『日野郡民会議だより』として会議の開催状況等をお伝えしていく予定であり、第5回会議意見の処理方針についても、改めてお知らせいたします。

- 郡民会議の開催状況、会議意見や処理方針については、日野総合事務所のホームページ（<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=4648>）にも掲載しております。

**日野郡民会議について、ご意見等ございましたら担当までお聞かせください！**

担当 県民局 県民課 實重 修 電話 0859-72-2083

## 「自然保護監視員の野の花だより」ホームページ掲載中！

福祉保健局のホームページに、藤原自然保護監視員が郡内をパトロール中に見つけた植物や自然環境について紹介する「自然保護監視員の野の花だより」を掲載しています。

日野郡の植物、自然に関する情報を発信していますので、ぜひご覧ください。（不定期更新）

また、「こんな植物を見つけた」「これは何の花？」など、気づかれたことがありましたら、お知らせください。

アドレス <http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=47583>

または とりネット→組織と仕事→日野総合事務所福祉保健局

→自然保護監視員の野の花だより の順にリンクをたどってください。



**マツムシソウ**【マツムシソウ科マツムシソウ属】

高原の秋を彩る、代表的な花です。

撮影場所：江府町鏡ヶ成

問い合わせ先

福祉保健局 保健衛生課  
電話 0859-72-2039  
担当 大野木 裕子

心とからだ いきいき キャンペーン



大切です！  
生活リズムや家庭・社会のマナー！

子どもの家庭生活に関するアンケート結果から

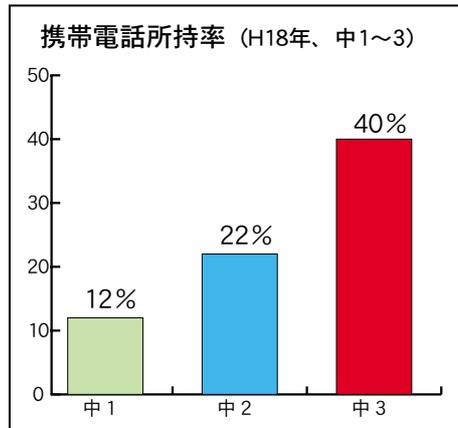


# 子どもと向き合っていますか？ 話を聞いていますか？

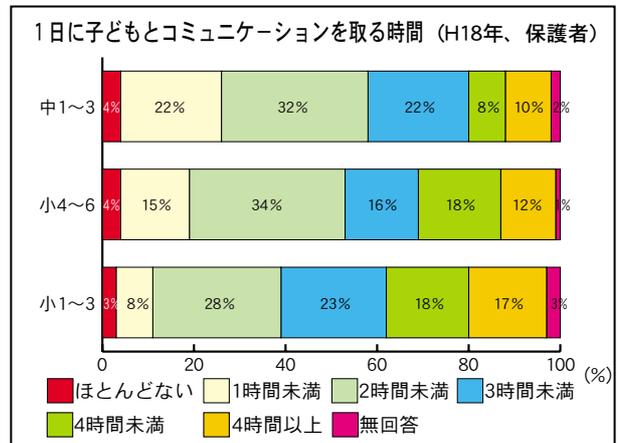
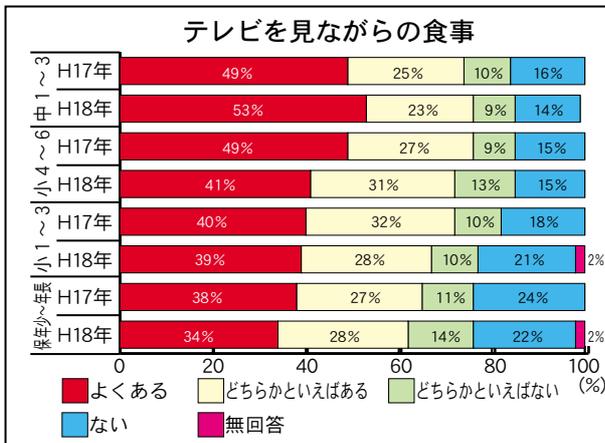
このように、家庭での親子のコミュニケーションの時間の多くが携帯電話やテレビなどに奪われており、1日にコミュニケーションを取る時間は、右下のように学年が上がるにつれて減少しています。これは、実際に残念な結果です。子どもたちは自分の身の回りに起こったことを両親に伝えて、同じように喜んだり、悲しんだりしてほしいものです。「忙しいからあとで」でなく、子どもが話したいその時に、きちんと向き合いたい話を最後まで聞いたり、逆に親が子どもに話をしたりすることで、本当のコミュニケーション力が養われるのです。幼い頃から、大事な話がテ

今回は、親子のコミュニケーションについて報告します。テレビでは利用者を獲得するために、頻繁に携帯電話のコミュニケーションが行われています。携帯電話の所持は年々低年齢化し、昨年11月に郡内の中学生の携帯電話の所持率を調べた所、左下のような結果でした。学年が上がるにつれて増加し、中3では40%でした（別調査では、高校生はほぼ全員に近い95%）。しかも、所持者の約30%は、メール・ゲームも含めると一日に3時間以上も携帯電話を使用しています。また、5月号では「夕食を子どもと一緒に食べるよう努力しておられる家庭が多い」と報告しましたが、下のグラフのように、テレビを見ながらの食事は、保育園児・小学生では昨年より減少しています。中学生では逆に増加しています。

30分未満	16%
30分以上	13%
1時間以上	25%
2時間以上	13%
3時間以上	31%
無回答	3%



テレビの音声にかき消され、視線がテレビに向いている状態であったり、メールをしたりしながら話を聞くのでは信頼関係が成り立つはずありません。郡内でも学校のノーテレビの取り組みを実践したら「会話が増えた」という報告も多くなります。自分の考えや理想・夢について、子どもだけでなく親もおおいに語りましょう。それが、子どものお心に根付き、財産となり、心の解放や家族の絆を深めることにつながるのではないのでしょうか。



子どもの家庭生活に関するアンケート結果から 平成18年・平成17年 11月実施

問い合わせ先 西部教育局 日野郡地域教育担当 清水 和祥 電話 0859-72-2075

# 日野郡の宝もの

歴史的・文化的資産を訪ねる



日野川右岸  
国道180号側より撮影

## 藪津橋(日野町 下黒坂)

日野川(日野町下黒坂)に架かる藪津橋(現在は通行止)。  
橋長L 47.86m(径間L 35.0m)で、昭和24年に完成されました。

旧橋は、日野川の狭さく部に大正10年に架設された木造トラス橋だったそうですが、数度の災害に流失し、仮橋の架設に数十日を要するため、その度に一郡の交通が途絶するという状況だったそうです。

そのような状況の中、昭和23年に災害復旧事業として着工し、防災機能は元より、経済性・安全性・美観に富んだ新型橋として計画・施工されたのが現在の藪津橋です。他にあまりみることのできないコンクリートの造形は、独特の景観と雰囲気醸し出しています。

(参考文献：月刊道路昭和25年2月号)

## 文化の秋

いくたちょうこう

## 郷土の偉人「生田長江」に触れてみませんか？

明治から大正期。文芸評論家・思想家として活躍した生田長江は、日野町貝原出身です。

長江は、「平塚らいてう」たちの始めた女性解放運動の結社「青鞥」の名付け親であり、またニーチェを初めて日本に紹介した翻訳家でもありました。文芸評論家、劇作家としても活躍し、日本の文壇に大きな影響を与えた人物です。

昨年度に引き続き、私たちの故郷の生んだ偉大な先人「生田長江」の功績や人物像を再発見する講演会や企画展示を行います。みなさま是非、この機会に「生田長江」に触れてみませんか？



生田長江碑(日野町根雨延暦寺内)

### 【講演会】

日時：9月29日 午後1時30分～  
場所：延暦寺(日野町根雨)  
テーマ：「生田長江の残したもの」  
～フェミニズム・青鞥・平塚らいてう～  
なかた ちかこ  
講師：中田親子さん  
(昭和女子大学日本文学博士課程)

### 【企画展示】

日時：11月1日 午前10時～2日午後5時  
場所：今井書店「本の学校」2階多目的ホール  
※2日に展示会場で、ギャラリートークを開催予定(午後2時～)

問い合わせ先  
担当 宮本 佳世子  
県民局 県民課  
電話 0859-72-2084

日野郡の優れた「食」の発掘と情報発信を支援します！

## 資源活用緊急支援対策事業

県では、本県の美しい環境で大切に育てられた安心・安全なイメージを持つ鳥取県食材を「食のみやこ鳥取県」の産品として市場に戦略的に情報発信することとしています。

本事業では、この目的に沿って日野郡の優れた「食」に関する意欲的な取り組みを行う団体等を補助金交付により支援します。

### 【補助対象となる事業】

日野郡における「食のみやこ鳥取県」のイメージ創出並びに情報発信及び食文化を基にした地域振興に資する取り組みで、2つ以上の総合事務所をまたがないもの。

### 【対象となる事業実施主体】

2社以上の企業で組織されたグループ、地域で組織された団体、NPO等

### 【補助対象となる経費】

事業達成に必要な経費（広告料、印刷製本費、委託費、使用料及び賃借料、通信運搬費、材料費、消耗品費、その他総合事務所長が必要と認める経費）

### 【補助率】

1/2（補助対象経費と認められたものの1/2）但し、知事特認事業と認定される場合、補助率を2/3とする。

### 【補助限度額】

100万円（補助対象経費200万円が上限）

### 【交付申請時期】

平成19年10月31日まで

### 【お問合せ及び申請先】

日野総合事務所  
 県民局 県民課 足立 啓作 電話 0859-72-2084  
 農林局 農業振興課 小松 弘明 電話 0859-72-2005



新そばをいち早く味わいたい

## 日野郡 新そばまつり

主催 日野郡新そばまつり実行委員会

【開催日時】

**11月11日(日)**  
午前10時～午後2時

【場所】

日野郡日野町根雨  
日野総合事務所前駐車場

現在、県内で最もそばの栽培面積の多い日野。郡内では10月末頃より新そばが収穫される時期となりますが、毎年この時期に合わせ、この美味しい新そばをいち早く味わっていただきたく、「日野郡新そばまつり」が開催されています。

今年は、これまでそば振興を担ってきた「日野郡そば研究会」を解散し、日野郡のそば店有志が集まって「日野郡新そばまつり実行委員会」を立ち上げました。まつりでは、参画するそば店が旬で美味しい地元産の新そば粉を用いた本物の手打ちそばを販売します。そば好きの方はもちろん、是非とも日野郡の秋の味覚を楽しみにご来場ください。

※自家用車でご来場のお客様には、会場周辺にて駐車場への誘導を行います。係員の指示に従って駐車してください。

【お問合せ先】 日野郡新そばまつり実行委員会 事務局長 田邊真幸  
 電話 0859-83-0238  
 日野総合事務所 県民局 県民課 足立啓作  
 電話 0859-72-2084





# 日野郡で働いてみませんか？

企業誘致・新規事業拡大などにより、平成20年度に向けて多くの求人が発生し、I・Uターン、定住促進への期待が高まっております。日野郡で働いてみませんか？

なお、各企業の求人情報は日野総合事務所ホームページでも詳細を閲覧いただけます。



求人社名	所在地(就業場所)	職 種
料理水川	日南町生山	調理補助、接客、配達
株式会社近藤電子工業鳥取事業所	日南町上石見	プリント基板設計
社会福祉法人日南福祉会	日南町下石見	介護員、看護師、管理栄養士、介護支援専門員
特定非営利活動法人いんくるサポート	日南町生山	支援員
株式会社オロチ	日南町生山	木製品の製造
日南町国民健康保険日南病院	日南町生山	看護師又は准看護師
株式会社グリーン・シャイン	日南町生山	森林作業員
株式会社増田林業	日南町神福	育林作業員
合資会社森運送	日南町内	集配(2t、4tトラック)、宅配のドライバー、事務員
有限会社山陰丸和運輸	日南町菅沢	運転手(4t、10t車)
有限会社福田宝進洞	日南町生山	販売
荒井菓子株式会社	日南町・日野町	食品等陳列
株式会社ケイナン	日野町金持	地山掘削作業員
有限会社A. O. R	日野町根雨	営業(アパレル)
日野病院組合	日野町野田 江府町武庫	メディカルソーシャルワーカー、言語聴覚士、作業療法士、看護師、准看護師、介護職員
安泰アパレル株式会社	日野町黒坂	マシンオペレーター
有限会社日野打設工業	日野町高尾	作業員、大型車オペレーター
休暇村大山鏡ヶ成	江府町御机	調理係、フロント係、レストラン係
江尾貨物自動車有限会社	江府町佐川	トラック運転手
有限会社川上運輸	江府町江尾	運転手

※この求人情報中には応募の時点で既に採用済・募集取り消しとなっている場合がありますので、求人情報の詳細、面接を希望される方はハローワーク窓口へお越しください。

**【問い合わせ先】** 米子公共職業安定所 根雨出張所(ハローワーク根雨) 0859-72-0065

**日野総合事務所各担当課の電話連絡先を一本化しました。**  
**担当課がわからない場合は、代表 電話0859-72-0321へ**  
**御連絡ください。**



**日野総合事務所への通報・相談等連絡先**

通報・相談等の連絡先		担当事務等	電話 0859-72	FAX 0859-72
県民局	代表電話	総合案内	0321	2072
	企画総務課	庶務・会計・庁舎管理・災害対策本部(日野)等	2070	
	県民課	県民の声・県税・保健・観光・商工労働・自然活用等	2075	
福祉保健局	福祉総務課	福祉・医療・介護保険等	2030	1099
	保健衛生課	保健衛生・環境保全等	2031	
農林局	農業振興課	農畜産物の生産と流通の支援、担い手育成支援	2001	2011
	日野農業改良普及所	農業生産技術、担い手育成、経営支援等(農家指導)	2024	2090
	林業振興課	農業農村整備事業についての相談	2008	2011
	地域整備課	林業関連事業等	2017	2125
県土整備局	建設総務課	工事執行事務等	2041	1398
	維持管理課	道路・河川・砂防施設の維持管理等	2045	
	用地課	道路・河川・砂防工事の用地・補償等	2052	0400
	計画調査課	道路・河川・砂防事業の計画等	2051	
	道路整備課	国道・県道・農道工事等	2050	1398
	河川砂防課	河川・砂防・治山工事等	2060	0400

※電話・FAXともに市外局番・局番は0859-72-で共通です。

**本誌廃刊のお知らせ**

平成13年9月に創刊しました『日野総合事務所だより』ですが、今回の第33号を最後に廃刊となります。

県の施策をはじめ、特に日野郡における歴史、文化、産業、教育、警察や「人」の紹介まで、幅広くお読みいただけるよう工夫を重ね、郡民の皆様と日野総合事務所を結び大切なお知らせの手段となってきたと考えております。

今後は、全県全戸配布で県全体の情報をお届けする『県政だより』のほか、インターネットでご覧いただける県のホームページ『とりネット』の中で、日野総合事務所としての情報内容を充実させ、この地域の話題や情報を皆さまにお届けできるよう努めていきますので、よろしくお願いたします。

また、これまでの本誌への感想や、『県政だより』についての御意見などもお受けいたしますので、県広報のあり方・要望など、郡民の皆様からの幅広い御意見を、日野総合事務所県民課、又は、県庁の「県民の声」担当へお知らせいただけますようお願いいたします。長らく御愛読いただきまして、ありがとうございました。

日野総合事務所県民局県民課  
 電話 0859-72-2083  
 県庁県民室県民の声担当  
 電話 0857-126-17025



編集発行：鳥取県日野総合事務所県民局 〒689-4503 日野郡日野町根雨140-1  
 TEL 0859-72-0321 FAX 0859-72-2072  
 E-mail h-kenminkyoku@pref.tottori.jp URL <http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=4645>